

令和5（2023）年度（英語科） 教育指導計画

（1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △）（講師：＊）

学 年	科 目 名	必修・選 択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I I	英語コミュニケーション I	◎	2	4	8	山井 惇平 乾まどか 加藤 晃浩 ジョー・レクセイ＊ 立花 直樹 加藤 晃浩 ロス・ワータネン＊ 木村 淳子＊ 山井 惇平 立花 直樹 加藤 晃浩
	論理・表現 I	◎	2	4	8	
II	英語コミュニケーション II	◎	3	4	12	
	論理・表現 II	◎	2	4	8	
III	コミュニケーション英語 III	◎	3	4	12	
	英語表現 II	◎	2	4	8	
	選択英語（基礎）	△	2	2	4	
	選択英語（発展）	△	2	2	4	

(2) 指導計画表

<p>科目名：英語コミュニケーションⅠ</p>	<p>学年：第Ⅰ学年</p>	<p>単位数：2</p>	<p>担当者名：山井 惇平</p>
<p>1. 指導目標</p> <p>聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。本科目では具体的に以下の2つの能力育成を重点的に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書かれた文章を語彙や文法に注意して正確かつ速く読み取る力。 ・文章に関連したオープンクエスションに対する考えを深めることによって、物事の本質に自ら気づき、言語化する力。 <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】【思考・判断・表現】</p> <p>聞くこと：①音声、②内容理解</p> <p>読むこと：①音読、②内容理解、③リーディングストラテジー</p> <p>話すこと（やりとり）：①即興性、②コミュニケーションストラテジー</p> <p>話すこと（発表）：①発音、②事実情報、③考えや気持ち、意見、主張</p> <p>書くこと：①事実情報、②考えや気持ち、意見、主張</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①国際性 ②協同性 ③学習ストラテジー</p> <p>3. 指導方法</p> <p>個別最適な学び、協同学習、全体での学びを適宜組み合わせる言語活動を行い、ワークシートなどを活用して生徒が自律的に学ぶことができるよう支援する。また、適宜教科書以外の教材も用いる。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>評価観点について、以下の方法で評価する。</p> <p>定期考査、パフォーマンス課題、プロジェクト研究等をもとに総合的に評価を行う。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1 学期></p> <p>Lesson1: Bringing Out the Best in Himself 現在形/過去形/進行形・未来表現</p> <p>Lesson2: Hold On, Anzu! 現在完了形/現在完了進行形 過去完了形/過去完了進行形</p> <p>Lesson3: We Can Make a Difference 助動詞 助動詞の過去形</p> <p>Lesson4: Creative Problem Solving さまざまな受動態 前置詞</p> <p><2 学期></p> <p>Lesson5: Canned Bread to Feed the World 不定詞 知覚動詞・使役動詞</p> <p>Lesson6: Could We Have a Real Jurassic Park? 動名詞 SVC(分詞)</p> <p>Lesson7: Behind the Price Tag SVOC(分詞) 分詞構文</p> <p>Lesson8: The World's Winter Festivals 比較に関する表現 従属接続詞</p> <p><3 学期></p> <p>Lesson9: Talking Trees 関係代名詞 関係副詞</p> <p>Lesson10: Capturing the Reality of the World 仮定法過去 仮定法過去完了 仮定法を使った表現</p>	
<p>使用教科書：</p> <p>『Heartening I English Communication』（桐原書店）</p> <p>副教材・テキスト等：</p> <p>『CNN Workbook Intensive Course』（朝日出版社）</p> <p>『英語の発音ノート』（Chart Institute）</p> <p>『EARTHRISE 総合英語』（Chart Institute）</p>			

科目名：論理・表現 I	学年：第 I 学年	単位数：2	担当者名：乾 まどか 加藤 晃浩 ジョー・レクセイ*																																																												
<p>1. 指導目標 話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くこと の三つの領域を結び付けた統合的な言語活動を通 して, 発信能力の育成を強化する指導を行う。 スピーチやプレゼンテーション, 文章を書くこと を通して伝えることができる素地を養う。また, 日常的な話題や, 社会的な話題について関心を持 ち, 探求心を持ってその課題に向き合う。 授業においては, 包括的な「本質的な問い」に対 する「永続的理解」を促すことを目指す。</p> <p>2. 評価観点 【知識・技能】 ・英語で発信するための語彙・表現・文法におけ る基礎をしっかりと身につけることができる 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて, 適切な表現を用いてコミ ュニケーションをとることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の学習形態を選択し, 課題に向かう計画を 自ら立て, 成果物を完成させる</p> <p>3. 指導方法 ○ペア・グループワークを通じた協同学習に取り 組むための支援を行う。 ○発信のために必要な語彙・表現・文法を, 教材 を用いて定着させる。 ○発信のために必要な英語の発音を理論的に学 び, 教材等を用いて指導する。 ○洋楽や洋画を通して, 表現力を養う ○生徒が調べたことや経験したこと, 興味, 関心 などに基づくライティング活動 ○生徒が調べたことや経験したこと, 興味, 関心 などに基づくスピーキング活動</p> <p>4. 評価方法 授業への取り組み, 定期考査, パフォーマンス課 題, 小テスト, 提出物等をもとに総合的に評価を 行う。</p>		<p>5. 年間計画 Ocean = 『Earthrise English Grammar in 24』 Sky = 『MAINSTREAM I』</p> <p>1 学期</p> <table border="1" data-bbox="810 430 1428 913"> <thead> <tr> <th>Ocean</th> <th>Sky</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 文の組み立て方 (1)</td> <td>L 1 文の要素</td> </tr> <tr> <td>2 文の組み立て方 (2)</td> <td>L 2 現在形</td> </tr> <tr> <td>3 動詞と時の表し方①</td> <td>L 3 過去形</td> </tr> <tr> <td>4 動詞と時の表し方①</td> <td>L 4 未来の表現</td> </tr> <tr> <td>5 動詞と時の表し方②</td> <td>L 5 進行形</td> </tr> <tr> <td>6 動詞と時の表し方②</td> <td>L 6 現在完了・現完進行形</td> </tr> <tr> <td>7 助動詞 (1)</td> <td>L 7 過去完了形</td> </tr> <tr> <td>8 助動詞 (2)</td> <td>L 12 助動詞</td> </tr> <tr> <td>9 助動詞 (3)</td> <td>L 13 受け身</td> </tr> <tr> <td>10 受動態 (1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 受動態 (2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学期</p> <table border="1" data-bbox="810 952 1428 1261"> <thead> <tr> <th>Ocean</th> <th>Sky</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 2 不定詞 (1)</td> <td>L 8 動名詞</td> </tr> <tr> <td>1 3 不定詞 (2)</td> <td>L 9 不定詞</td> </tr> <tr> <td>1 4 不定詞 (3)</td> <td>L 10 分詞</td> </tr> <tr> <td>1 5 動名詞 (1)</td> <td>L 11 比較</td> </tr> <tr> <td>1 6 動名詞 (2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 7 分詞 (1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 8 分詞 (2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 学期</p> <table border="1" data-bbox="810 1299 1428 1682"> <thead> <tr> <th>Ocean</th> <th>Sky</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 9 関係詞 (1)</td> <td>L 14 仮定法</td> </tr> <tr> <td>2 0 関係詞 (2)</td> <td>L 15 関係代名詞・関係副詞</td> </tr> <tr> <td>2 1 関係詞 (3)</td> <td>L 16 接続詞</td> </tr> <tr> <td>2 2 比較 (1)</td> <td>L 17 否定</td> </tr> <tr> <td>2 3 比較 (2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 4 仮定法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>話法・否定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さまざまな表現 (1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さまざまな表現 (2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>* 『基礎を固める英語構文ノート』 夏季休暇中の課題として配布。確認テストを2学期に実施</p>		Ocean	Sky	1 文の組み立て方 (1)	L 1 文の要素	2 文の組み立て方 (2)	L 2 現在形	3 動詞と時の表し方①	L 3 過去形	4 動詞と時の表し方①	L 4 未来の表現	5 動詞と時の表し方②	L 5 進行形	6 動詞と時の表し方②	L 6 現在完了・現完進行形	7 助動詞 (1)	L 7 過去完了形	8 助動詞 (2)	L 12 助動詞	9 助動詞 (3)	L 13 受け身	10 受動態 (1)		11 受動態 (2)		Ocean	Sky	1 2 不定詞 (1)	L 8 動名詞	1 3 不定詞 (2)	L 9 不定詞	1 4 不定詞 (3)	L 10 分詞	1 5 動名詞 (1)	L 11 比較	1 6 動名詞 (2)		1 7 分詞 (1)		1 8 分詞 (2)		Ocean	Sky	1 9 関係詞 (1)	L 14 仮定法	2 0 関係詞 (2)	L 15 関係代名詞・関係副詞	2 1 関係詞 (3)	L 16 接続詞	2 2 比較 (1)	L 17 否定	2 3 比較 (2)		2 4 仮定法		話法・否定		さまざまな表現 (1)		さまざまな表現 (2)	
Ocean	Sky																																																														
1 文の組み立て方 (1)	L 1 文の要素																																																														
2 文の組み立て方 (2)	L 2 現在形																																																														
3 動詞と時の表し方①	L 3 過去形																																																														
4 動詞と時の表し方①	L 4 未来の表現																																																														
5 動詞と時の表し方②	L 5 進行形																																																														
6 動詞と時の表し方②	L 6 現在完了・現完進行形																																																														
7 助動詞 (1)	L 7 過去完了形																																																														
8 助動詞 (2)	L 12 助動詞																																																														
9 助動詞 (3)	L 13 受け身																																																														
10 受動態 (1)																																																															
11 受動態 (2)																																																															
Ocean	Sky																																																														
1 2 不定詞 (1)	L 8 動名詞																																																														
1 3 不定詞 (2)	L 9 不定詞																																																														
1 4 不定詞 (3)	L 10 分詞																																																														
1 5 動名詞 (1)	L 11 比較																																																														
1 6 動名詞 (2)																																																															
1 7 分詞 (1)																																																															
1 8 分詞 (2)																																																															
Ocean	Sky																																																														
1 9 関係詞 (1)	L 14 仮定法																																																														
2 0 関係詞 (2)	L 15 関係代名詞・関係副詞																																																														
2 1 関係詞 (3)	L 16 接続詞																																																														
2 2 比較 (1)	L 17 否定																																																														
2 3 比較 (2)																																																															
2 4 仮定法																																																															
話法・否定																																																															
さまざまな表現 (1)																																																															
さまざまな表現 (2)																																																															
<p>○使用教科書 『MAINSTREAM I』 (増進堂) ○副教材・テキスト等 『EARTHRISE 総合英語』 (Chart Institute) 『Earthrise English Grammar in 24』 (Chart Institute) 『基礎を固める英語構文ノート』 (Chart Institute) 『英語の発音ノート』 (Chart Institute)</p>																																																															

科目名：英語コミュニケーションⅡ	学年：第Ⅱ学年	単位数：3	担当者名：立花 直樹
<p>1. 指導目標</p> <p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>英語コミュニケーションⅠの学習を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動を通して、五つの領域の総合的な指導を発展的に行う。より自律した英語学習者の育成を目指し、「多くの支援」を活用する段階から、必要に応じて「一定の支援」を活用する段階へと移行する。また、本科目では、語彙や表現などの言語材料がより多様になることから、既習事項を繰り返し活用したり、生徒が自分の考えなどを表現する際にそれらを話したり書いたりして表現できるような段階まで定着させる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>附属天王寺英語科 CAN-DO リストをもとに、3つの観点のなかで重視する項目は以下の通りである。</p> <p>【知識・技能】【思考・判断・表現】</p> <p>聞くこと：①音声、②内容理解 読むこと：①音読、②内容理解、③リーディングストラテジー 話すこと（やりとり）：①話題、②コミュニケーションストラテジー 話すこと（発表）：①発音、②事実情報、③考えや気持ち、意見、主張 書くこと：①事実情報、②考えや気持ち、意見、主張</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>粘り強さ、自己調整</p>		<p>3. 指導方法</p> <p>附属天王寺英語科 CAN-DO リストをもとに、個に応じた学び、協同学習を適宜組み合わせ、ワークシートなどを活用して生徒が自律的に学ぶことができるよう支援する。また、適宜教科書以外の教材も用いる。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>2. 評価観点について、以下の方法で評価する。</p> <p>【知識・技能】 定期考査、パフォーマンステスト、課題</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査、パフォーマンステスト、課題</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 振り返り、パフォーマンステスト、課題 評点：定期考査 50% その他 50%</p> <p>5. 年間計画</p> <p>1学期：Unit 1 Friendship, Unit 2 Migration, Unit 4 Sport 2学期：Unit 5 Freal Weather, Unit 7 Health of a Nation, Unit 8 Our Society 3学期：Unit 9 Pure Genius!, Unit 10 In the News</p> <p>* 『Timed Reading for Fluency 2』を使って毎週1回のペースで速読トレーニングをおこなう。</p>	
<p>使用教科書： Cambridge Experience 2 Student's Book (ケンブリッジ大学出版) 副教材・テキスト等 Timed Reading for Fluency 2 (Seed Learning) Cambridge Experience 2 Workbook (ケンブリッジ大学出版)</p>			

科目名：論理・表現Ⅱ	学年：第Ⅱ学年	単位数：2	担当者名：加藤 晃浩
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) 身近な話題や社会的な話題について、話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの三つの領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、発信能力の育成を強化する指導を行う。</p> <p>(2) 他者との協同や対話を重ねながら、自らの学びに見通しを持って主体的・自律的に学習する態度を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で発信するための発音、語彙、文法を正確に用いて適切に運用し、表現することができるか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えを根拠とともに内容や構成を意識しながら表現することができるか <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的かつ意欲的に英語を活用し、他者と協同して学びを高め合っているか 自ら設定した目標に向け、見通しを持って自分に合った学習方法を選択し、内省と調整を繰り返しながら学習を進めることができるか <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇語彙学習、文法学習、語学学習の自主的・自律的な学習の支援 ◇ことばへの気づき（母語との対比）を促す活動 ◇協同学習を通して、考えを交流し、見方・考え方を広げ深め合う機会の創出 ・副教材を用いたリスニングの練習 ・Interview, Speech, Discussion, Debate ・Essay Writing 		<p>4. 評価方法</p> <p>授業への取り組み、定期考査、パフォーマンス課題、小テスト、提出物等をもとに総合的に評価を行う。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>MAINSTREAM Lesson 1~6 Focus on Listening Training 1~7 Earthrise English Grammar in 33 Stages</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の組み立て方 ・時制 ・助動詞 ・受動態 <p>< 2 学期 ></p> <p>MAINSTREAM Lesson 7~10 Focus on Listening Training 8~15 Earthrise English Grammar in 33 Stages</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞 ・動名詞 ・分詞 ・関係詞 ・比較 <p>< 3 学期 ></p> <p>MAINSTREAM Lesson 11~13 Focus on Listening Training 16~20 Earthrise English Grammar in 33 Stages</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 ・話法 ・さまざまな表現 ・品詞 	
<p>○使用教科書</p> <p>『MAINSTREAM Ⅱ』（増進堂）</p> <p>○副教材・テキスト等</p> <p>『Focus on Listening Standard』（EMILE）</p> <p>『Earthrise English Grammar in 33 Stages 33 アースライズ英文法』（Chart Institute）</p> <p>『Earthrise English Grammar in 33 Stages アースライズワーク 33』（Chart Institute）</p> <p>『EARTHRISE 総合英語』（Chart Institute）</p>			

科目名：コミュニケーション英語Ⅲ	学年：第Ⅲ学年	単位数：3	担当者名：木村 淳子
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) 英語の4技能における活動を通じた英語の総合力習得。</p> <p>(2) 現代の問題について関心を持ち、情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解してCritical Thinkingを持ち、それを適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】 語彙、文法、発音、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの理解と適切な運用ができるか</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や他者の意見を的確にインプットし、対する自分の考えを根拠とともに適切に表現することができるか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自ら設定した目標に向け、見通しを持って自分に合った学習方法を選択し、内省と調整を繰り返しながら学習を進めることができるか</p> <p>3. 指導方法</p> <p>◇インプット→インテイク→アウトプットに繋げる言語活動を中心に据えた指導</p> <p>◇協同学習を通して、題材をもとに考えを交流し、見方・考え方を広げ深め合う機会の創出</p> <p>◇語彙学習、文法学習、語学学習の自主的・自律的な学習の支援</p> <p>・教科書の聴解&読解 (True or False, 英問英答, 要約)</p> <p>・教科書をもとにしたリテリング活動や自己表現活動</p> <p>・副教材を用いた速読, 速聴の練習</p> <p>・Interview, Speech, Discussion, Debate</p> <p>・Essay Writing</p>		<p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>◎ 語彙テスト、内容理解テスト、インタビューテスト、スピーチ、ディスカッション、エッセイ、定期考査、小テスト等における、正確で適切な英語の活用</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>◎ 語彙テスト、内容理解テスト、インタビューテスト、スピーチ、ディスカッション、エッセイ、定期考査等における、概要や詳細、意図などの的確な理解</p> <p>◎ 語彙テスト、内容理解テスト、インタビューテスト、スピーチ、ディスカッション、エッセイ、定期考査等における、目的や場面、状況などに応じた内容や構成</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◎ 語彙テスト、内容理解テスト、インタビューテスト、スピーチ、ディスカッション、エッセイ等における、積極的で意欲的な英語使用</p> <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>CROWN Lesson 1, 2 3, 4 Reading Explorer 10</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>CROWN Lesson 5, 6, 7, 8 Reading Explorer 11</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>CROWN Lesson 9, 10 Reading Explorer 12</p>	
<p>使用教科書： 『CROWN English Communication Ⅲ』(三省堂)</p> <p>副教材： 『Reading Explorer Foundation』(National Geographic Learning)</p> <p>『LEAP 英単語』(数研出版)</p> <p>『TACLE 40』『TRY30』(桐原書店)</p>			

科目名：英語表現Ⅱ	学年：第Ⅲ学年	単位数：2	担当者名：山井 惇平
<p>1. 指導目標</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。本科目では具体的に以下の3つの能力育成を重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確かつ豊かな表現をもって英文を作る力 ・英語ニュースを聞き取り、要点を理解する力 ・英文記事や英語ニュース等を読んだり聞いたりしたことをもとに、日常生活や社会的な話題について論理的に意見を伝える力 <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で発信するための語彙・表現・文法における基礎をしっかりと身につけることができるか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて、適切な表現を用いてコミュニケーションをとることができるか <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペア・グループワークを通じた協同学習に取り組むための支援を行う。 ○発信のために必要な語彙・表現・文法を、教材を用いて定着させる。 ○発信のために必要な英語の発音を、教材等を用いて指導する。 ○生徒が調べたことや経験したこと、興味、関心などに基づくライティング活動 ○生徒が調べたことや経験したこと、興味、関心などに基づくスピーキング活動 <p>4. 評価方法</p> <p>授業への取り組み、ペーパーテスト、パフォーマンステスト、小テスト、提出物等をもとに総合的に評価を行う。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Write to the Point 1～8 ○CNN Workbook News 1～8 <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Write to the Point 9～18 ○CNN Workbook News 9～16 <p><3学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Write to the Point 発展編、自由英作文 ○CNN Workbook News 17～20 	
<p>○使用教科書</p> <p>『EMPOWER Ⅱ』（桐原書店）</p> <p>○副教材・テキスト等</p> <p>『入試必携英作文 Write to the Point』（Chart Institute）</p> <p>『CNN Workbook Extended Course』（朝日出版）</p>			

科目名： 選択英語（基礎）	学年： 第Ⅲ学年	単位数： 2	担当者名： 立花 直樹
<p>1. 指導目標</p> <p>英語の基本的な知識・技能を身につけ、コミュニケーション英語Ⅲや英語表現Ⅱでの学びが促進されるようにする。また、主体的に学習に取り組むことができるよう、学び方を学ぶ。扱う内容については、受講者共通の課題である読解ストラテジー、語彙、文法と、個別の課題に関するものとする。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読解ストラテジーが身に付いているか ・基本的な語彙・文法が身に付いているか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む目的に応じて、知識や読解ストラテジーを使うことができるか ・伝えたいことに合わせて、語彙や文法を使うことができるか <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学びのゴールや課題を把握し、粘り強く、自己調整しながら学ぶことができるか ・学習スタイルに応じて、学習方法、内省する、他者と協力するなどの学習ストラテジーを選択して、効果的に使うことができるか <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通の教材を使っての学習と生徒個別の課題への取り組みで授業を構成する ・個別の学び、協同での学びのバランスを取る ・学び方について、生徒が振り返る機会を設けたり生徒にフィードバックを与えたりして、主体的に学習できるよう支援する <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ 		<p>5. 年間計画</p> <p>【1学期】</p> <p>1 Music, 2 War, 3 Poverty, 4, History, 5 Technology, 6 Energy problems</p> <p>【2学期】</p> <p>7 Health, 8 Technology, 9 Disaster, 10 Science, 11 Environment, 12 Space</p> <p>*各自の設定した課題に取り組む時間を設ける。</p>	
<p>使用教科書：なし</p> <p>副教材・テキスト等：</p> <p>『NEWSBREAKS for STANDARD English learners 2022』（エミル出版）</p>			

科目名： 選択英語（発展）	学年： 第Ⅲ学年	単位数： 2	担当者名： 加藤 晃浩
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) スピーキング力, ライティング力における表現内容を向上させる。</p> <p>(2) 時事的なニュースから多様なトピックについて複数の視点から眺める力, および, 自らの意見をいくつかの観点から論理的に展開できる力を養う。</p> <p>(3) 他者と対話する力を伸ばす。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の言語的側面に関して正しく理解し適切に運用しているか 対話を適切に開始&継続しているか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の意見や, 情報, ニュース等についての概要や詳細, 意図などを的確に理解しているか 独自の意見を練り上げ, 根拠とともに内容や構成を意識しながら交流することができているか <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的かつ意欲的に英語を活用し, 他者と協同して学びを高め合っているか 授業外でも自分なりに取り組む学習内容・学習方法を持ち, 省察しながら, 主体的に学習を進めているか <p>3. 指導方法</p> <p>◇グループディスカッションを基本として, ニュースのテーマを通して見方・考え方を広げ深める。</p> <p>◇多様な考えに触れる機会を持たせ, 独創性のある内容を効果的に伝えることを意識しながら話す力, 書く力を育成する。</p> <p>◇語学学習の自主的・自律的な学習を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> Short movies TED Talks Speech, Discussion, Debate Essay Writing 		<p>4. 評価方法</p> <p>授業への取り組み, 定期考査, パフォーマンス課題, 小テスト, 提出物等をもとに総合的に評価を行う。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>< 1 学期 ></p> <p>CNN Comprehensive Trainer 2023 News 1~6 発音練習&音読テスト エッセイライティング 英字新聞リテリング</p> <p>< 2 学期 ></p> <p>CNN Comprehensive Trainer 2023 News 7~12 ディベート スピーチ エッセイ集作成 英作</p> <p>< 3 学期 ></p> <p>英作 映画</p>	
<p>使用教科書： 副教材・テキスト等 『CNN Comprehensive Trainer 2023』（朝日出版社）</p>			